科目名	75. あらゆる状況における看護				
履修年次	3年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	あらゆる状況における看護師の役割について理解することができる				
到達目標	1)災害医療・災害看護に関する基礎的知識や、災害各期と特徴と看護師の役割・被災者に対する看護活動の実際を説明することができる 2)災害が人々の健康に及ぼす影響を考えられ、災害状況と場面に応じた適切な判断と看護を表現することができる 3)世界の貧困や経済状況における健康格差や健康問題・健康課題に関心を向け、国際保健医療活動における看護師の役割を説明することができる				
評価方法	筆記試験（70点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（30点）による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　統合分野　災害看護学・国際看護学　看護の統合と実践③　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	「あらゆる状況における看護」では災害において、発災直後から復興期までの看護および生活を維持するための支援方法を学び、日本に限らず海外にも視野を広げ国際社会において広い視野に基づき、看護師として諸外国との協力を考える姿勢を養うことをねらいとしています。また、在日外国人の現状について理解すると共に、あらゆる状況の中で行われている助け合いの実際を学でもらいたい考えています。国際看護、途上国の健康にあまり興味がない者であっても、日本の病院等では外国人など価値観の異なる対象を看護する場面もあり、文化が違う対象者への理解を深めるためにも本講義は役立つと考えています。シミュレーション演習を取り入れているため、事前学習は必須であり、講義・演習ではグループで検討することを重視します。				

回	学習項目	学習内容	授業 方法
1	災害医療の基礎的知識	災害の定義、災害の種類と健康被害、災害医療の特徴（自然災害/人的災害/特殊災害/複合災害）	講義
2	災害看護の基礎知識	災害看護の定義と役割、災害看護の対象、災害看護の特徴と看護活動	講義
3	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護①	災害各期の看護（急性期・亜急性期・慢性期・復興期・静穏期）	講義

4	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護②	災害各期の看護（急性期・亜急性期・慢性期・復興期・静穏期） 事業継続計画（BCP）	講義
5	災害とこころのケア 感染症対策	災害がもたらす精神的影響 感染症/感染症対策	講義
6	国際看護学とは	国際看護学の定義・対象・関連する基礎知識多様な文化と看護	講義
7	国際協力のしくみ	国際救援・保健医療協力分野で活躍する国際機関	講義
8	国際協力と看護	開発途上国と看護 開発協力と看護	講義
9	国際救援と看護	国際救援と看護 救援活動における看護師の課題 在留外国人への看護実践	講義
10	まとめ	国際看護を考える	講義 演習
11	シミュレーション演習	災害の種類と特徴/災害各期の看護 超急性期：トリアージ/救護所設置 急性期：骨折・止血 慢性期：感染症・合併症	演習 (実習室)
12			
13			
14			
15	まとめ	体験をふまえ、災害看護を考える	演習